

教育理念・目標

□ 基本理念

人間性に富み，創造性豊かな実践力のある研究開発型技術者育成のための高等教育機関

□ 教育理念

- 1) 豊かな教養と誠実な人間性を育む教育
- 2) 創造的な能力と意欲を育む教育
- 3) 高度な科学技術に対応できる実践力を育む教育
- 4) 地域社会への関心と国際的な視野を育む教育

□ 学習・教育目標

準学士課程

- 1) 技術者として必要な基礎学力と専門的知識を身につける。
- 2) 意欲的・実践的に，ものづくりや課題の解決に最後まで取り組むことができる。
- 3) 幅広い視点から自らの立場を理解し，社会や環境に配慮できる。
- 4) 自分の考えを正しく表現し，公正に意見を交換することができる。

【機械工学科】

材料，エネルギー，計測制御，生産加工などの知識と技術を習得し，広い分野における「ものづくり」に応用することができる。

【電気工学科】

エネルギー，エレクトロニクス，制御，通信，コンピュータなどの知識と技術を習得し，「ものづくり」や課題の解決に応用できる。

【電子情報工学科】

情報・電子・通信などの基礎知識と技術を習得し，システム設計・開発を行うことができる。

【環境都市工学科】

くらしを支える施設の整備，防災，環境保全に関する知識を習得し，より良い都市づくりを目的とした課題に対処することができる。

【建築学科】

建築を取りまく文化や技術の基礎知識を習得し，住生活から地域・都市環境にわたる建築への様々な課題の解決に応用できる。

専攻科課程

- A) 科学技術や情報を利用してデザインし創造することに喜びを知り、たゆまず努力することができる。
- B) 問題を発見・提起し、修得した技術に関する知識や理論によって解析し、解決までできる。
- C) 国際社会を多面的に考えられる教養と語学力を持ち、社会や自然環境に配慮できる。
- D) 実践的な体験をとおして、地域の産業や社会が抱える課題に積極的に対処できる。
- E) チームプロジェクト等を遂行するに必要な計画性をそなえ、論理的な記述・発表ができる。

【電子機械工学専攻】

機械、電気、電子、情報などの専門分野に関する高度な技術と専門以外の幅広い知識を修得し、修得した技術を活用することができる。

【環境建設工学専攻】

建設、環境、建築などの専門分野に関する高度な技術と専門以外の幅広い知識を修得し、修得した技術を活用することができる。

□ 養成すべき人材像

- 1) 幅広い視野を持ち、国際社会や地球環境を理解できる技術者
- 2) 社会的責任感と技術者としての倫理観を備えた技術者
- 3) 問題や課題を完遂するための気概と指導力、協調性を備えた技術者
- 4) 好奇心や目的意識・職業意識が旺盛で、十分な意欲を持つ技術者
- 5) 確実な基礎学力と体験や実技を通して備えた実践力を持つ技術者
- 6) 自ら問題を解決する能力（事象の理解、問題の発見、課題の設定・解決）を持つ技術者
- 7) 学習や研究の成果を論理的に記述し、発表し、討議する能力を持つ技術者
- 8) 学んだ知識を柔軟に活用できる応用力を持つ技術者
- 9) 地域との交流を通して積極的な社会参加の意識を持つ技術者
- 10) 相互理解の上に立ったコミュニケーション能力を持つ技術者

創造工学プログラム

石川高専では、本科5年間／専攻科2年間の一貫教育により社会の発展を支える技術者を育成しています。その中で、本科4年次から専攻科2年次までの4年間で構成される「創造工学プログラム」を設定しています。この教育プログラムは、複数の工学の知識を修得し幅広い考察ができる技術者を育成するための複合工学修得コースと、専門工学を探究し深い考察ができる技術者を育成するための専門工学探究コースで構成されています。このうち複合工学修得コースは、JABEE（日本技術者教育認定機構）より国際的に通用する技術者教育プログラムとして認定を受けており、修了生は技術士の一次試験を免除され、技術士補となる資格が与えられます。

いずれのコースも人間性に富み、創造性豊かな実践力のある研究開発型技術者の育成を目指しています。

したがって、専攻科修了と同時に創造工学プログラムを修了し、一定の条件を満たすことにより、(独)大学改革支援・学位授与機構から学士(工学)の学位が授与されます。そして、技術士の第一次試験が免除され、技術士補となります。

プログラム修了に必要な科目は、創造工学プログラムの教育目標との対応を含めて次の表を参照してください。

なお、プログラムの科目の単位を修得するには、JABEE合格点(60点)以上の成績が必要です。

創造工学プログラムの学習・教育目標は以下のとおりです。

- A. 科学技術や情報を利用してデザインし創造することに喜びを知り、たゆまず努力する技術者を育成する。
 - (1) 基礎工学（設計システム、情報論理、材料バイオ、力学、社会技術）の科目を修得している。
 - (2) PBL（Problem-based Learning）の経験から創造の喜びを修得している。
- B. 問題を発見・提起し、修得した技術に関する知識や理論によって解析し、解決までできる技術者を育成する。
 - (1) 学士の学位を取得できる専門工学の知識と能力を有する。
 - (2) 数学（情報処理）・物理による理論的解析能力がある。
- C. 国際社会を多面的に考えられる教養と語学力を持ち、社会や自然環境に配慮できる技術者を育成する。
 - (1) 国際社会を多面的に考えることができる。
 - (2) 外国語によるコミュニケーション能力がある。
 - (3) 技術者倫理を修得している。
- D. 実践的な体験をとおして、地域の産業や社会が抱える課題に積極的に対処できる技術者を育成する。
 - (1) 地域企業などでのインターンシップをとおして、実務上の問題点と解決法の現状を体得している。
 - (2) 実務上の問題点として、いろいろな環境技術について検討できる。
- E. チームプロジェクト等を遂行するに必要な計画性をそなえ、論理的な記述・発表ができる技術者を育成する。
 - (1) 日本語による論理的な記述、コミュニケーションができる。
 - (2) 地道に行った研究成果を口頭発表できる。

(3) 与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめることができる。

さらに、創造工学プログラムには複合工学修得コースと専門工学探究コースの2コースがあり、それぞれに目標が設定されています。いずれのコースも人間性に富み、創造性豊かな実践力のある研究開発型技術者の育成を目指しています。

F 1. 複合工学修得コースの学習・教育目標

いくつかの工学の知識を修得し、幅広い考察ができる技術者を育成する。

(1) 申請学士領域以外の工学の知識を修得し、幅広い考察ができる。

F 2. 専門工学探究コースの学習・教育目標

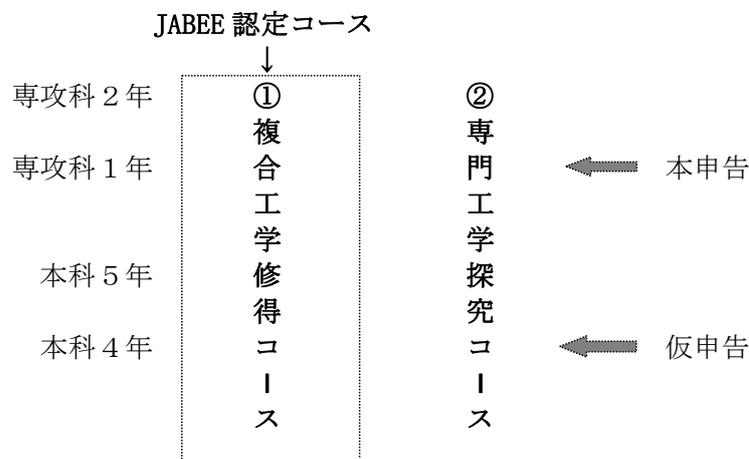
専門工学を探究し、深い考察ができる技術者を育成する。

(1) 申請学士領域の工学を探究し、深い考察ができる。

どちらのコースを選択するかは本科4年次で仮申告することになっています。そして、専攻科進学者は専攻科入学時に本申告を行い、どちらかのコースに決定します。

創造工学プログラムにおけるコース制について

【創造工学プログラムと本科・専攻科との対応】



【本申告におけるコース必要条件】

- ① 複合工学修得コース
 - ・幅広い工学の知識を修得することを目的としていること。
 - ・創造工学プログラムの本科の指定科目を必修科目を含めて62単位以上修得し、さらにそれらの成績が全て60点以上であること。
- ② 専門工学探究コース
 - ・専門工学のみを深く探究することを目的としていること。
 - ・創造工学プログラムの本科指定科目を62単位以上修得していること。

【プログラム修了における必要条件】

- ・コース別達成度評価項目を満足していること。
- 以上の条件に加えて、各コースにおいて次の条件が必要である。
 - ① 複合工学修得コース
 - ・創造工学プログラム達成度評価12項目を全て満足していること。
 - ② 専門工学探究コース
 - ・創造工学プログラム達成度評価12項目中10項目以上を満足していること。

【その他】

- * ①複合工学修得コース修了者はJABEE認定プログラム修了者となる。
また、複合工学修得コースにおいて、1年次に創造工学プログラムの学習・教育目標C(2)の総合的評価を満たさない者は、2年次配当の創造工学演習Ⅱを履修できない。
- * JABEE認定プログラム修了者は技術士一次試験免除となる。
- * ②専門工学探究コースは、社会人特別選抜による入学者等でJABEE修了を希望しない者（あるいは本科においてJABEE合格科目が必要数に満たないが専攻科修了を希望する者）等が対象となる。
- * 複合工学修得コースを申告した者で専門工学探究コースへの変更を希望する場合は、専攻科長が認めた場合に限り、専攻科2年進級時において専門工学探究コースへの変更を認めることがある。

創造工学プログラムの科目と学習・教育目標との対応表(機械工学科)・・・申請学士領域(機械工学)

◎はプログラム重要科目、○①②③④⑤はプログラム関連科目

Table with columns for subject name, required status, and credit units (4, 5, 1, 2) and achievement levels (A, B, C, D, E, F) for each of the 11 learning/education goals.

(創造工学プログラムの学習・教育目標と達成度評価をA-E項目で示し、コース別の学習・教育目標と達成度評価をFで示す。)

創造工学プログラムの学習・教育目標と達成度評価

A. 科学技術や情報を利用してデザインし創造することに喜びを知り、たゆまず努力する技術者を育成する。

(1)基礎工学(設計システム、情報論理、材料パイオ、力学、社会技術)の科目を修得している。

→【表1の基礎工学の5つのプログラム科目群で各群から1科目以上計6科目以上の単位を修得すること。】

表1. 基礎工学のプログラム科目群と科目名(◎は重要科目)

Table mapping program subject groups to specific subjects like Design System, Information Theory, Materials, etc.

→【専攻科専門共通科目から18単位以上を修得すること。】

(2)PBL(Problem-based Learning)の経験から創造の喜びを修得している。

→【プログラム重要科目である卒業研究、創造工学演習Iを修得する

B. 問題を発見・提起し、修得した技術に関する知識や理論によって解析し、解決までできる技術者を育成する。

(1)学士の学位を取得できる専門工学の知識と能力を有する。

→【表B(1)のプログラム関連科目から30単位以上修得すること。】

→【専攻科専門展開科目から37単位以上を修得すること。】

(2)数学(情報処理)・物理による理論的解析能力がある。

→【表B(2)のプログラム関連科目から2単位以上修得すること。】

C. 国際社会を多面的に考えられる教養と語学力を持ち、社会や自然環境に配慮できる技術者を育成する。

(1)国際社会を多面的に考えることができる。

→【表C(1)のプログラム関連科目から12単位以上修得すること。】

(2)外国語によるコミュニケーション能力がある。

→【表C(2)のプログラム重要科目を修得すること。】

※【C(2)の総合的評価】
総合英語到達度試験に合格すること。ただし、TOEIC400点相当、英検2級、工業英検3級取得のいずれかをもって代えることができる。

(3)技術者倫理を修得している。

→【表C(3)のプログラム重要科目を修得すること】

※【C(3),D(2)の総合的評価】
特別研究関連分野に関する技術者倫理/環境関連のテーマについてレポートを提出する。

D. 実践的な体験をとおして、地域の産業や社会が抱える課題に積極的に対処できる技術者を育成する。

(1)地域企業などでのインターンシップをとおして、実務上の問題点と解決法の現状を体得している。

→【プログラム重要科目であるインターンシップを修得すること。】

(2)実務上の問題点として、いろいろな環境技術について検討できる。

→【プログラム重要科目である環境技術を修得すること】

E. チームプロジェクト等を遂行するに必要な計画性をそなえ、論理的な記述・発表ができる技術者を育成する。

(1)日本語による論理的な記述、コミュニケーションができる。

→【表E(1)のプログラム重要科目を修得すること。】

(2)地道に行った研究成果を口頭発表できる。

→【表E(2)のプログラム重要科目を修得すること。】

※【E(1),E(2)の総合的評価】
特別研究の成果について、学会等で外部発表を行うこと。

(3)与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめることができる。

→【プログラム重要科目である創造工学演習IIを修得すること。】

コース別の学習・教育目標と達成度評価

F1. 複合工学修得コースの学習・教育目標
いくつかの工学の知識を修得し、幅広い考察ができる技術者を育成する。

(1)申請学士領域以外の工学の知識を修得し、幅広い考察ができる。

→【専攻科におけるF(1)のプログラム科目群の中から、計6単位以上修得すること。表2にそれぞれの科目名を示す。】

表2. 専門共通・展開科目群の科目名

Table listing subjects in the common and development subject groups, such as Industrial Design, Mechanical Design, etc.

F2. 専門工学探究コースの学習・教育目標
専門工学を探究し、深い考察ができる技術者を育成する。

(1)申請学士領域の工学を探究し、深い考察ができる。

→【学士を取得する専門工学における専攻科のプログラム関連科目(表B(1))から12単位以上修得すること。】

(備考)

- 1年次の総修得単位数が30単位に満たない者は、2年次相当の創造工学演習IIを履修できない。
複合工学修得コースにおいて、1年次に創造工学プログラムの学習・教育目標C(2)の総合的評価を満たさない者は、2年次相当の創造工学演習IIを履修できない。

創造工学プログラムの科目と学習・教育目標との対応表(電気工学科)・・・申請学士領域(電気電子工学)

◎はプログラム重要科目、○①②③④⑤はプログラム関連科目

授業科目	必修	学年と単位数					A		B		C		D		E		F
		4	5	1	2	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)		
日本文学	必	1									○						
環境倫理	必	1										◎		○			
生命の科学	必	1									○						
保健体育Ⅳ	必	2									○						
保健体育Ⅴ	必	2	1								○						
英語講読Ⅱ	必	2									○						
英語講読Ⅲ	必	1									○						
法と社会秩序	必	1									○						
特別英語演習	必	1									○						
第2外国語Ⅰ	必	2									○						
第2外国語Ⅱ	必	2									○						
応用数学A	必	1									◎						
応用数学B	必	2									◎						
確率・統計Ⅰ	必	1									◎						
確率・統計Ⅱ	必	1									◎						
応用物理Ⅱ	必	1									○						
電気回路Ⅱ	必	2									◎						
電気磁気Ⅱ	必	2									◎						
電子回路Ⅱ	必	2									◎						
制御工学Ⅰ	必	1									○						
制御工学Ⅱ	必	2									○						
プログラミングⅢ	必	2									◎						
情報理論	必	1									◎						
電気機器Ⅱ	必	1									○						
高電圧工学	必	2									○						
電力工学	必	1									○						
半導体デバイス工学Ⅰ	必	2									◎						
半導体デバイス工学Ⅱ	必	2									◎						
電気材料	必	2									◎						
通信工学	必	2									○						
情報ネットワーク工学	必	2									○						
デジタル信号処理	必	1									○						
電気電子工学実験Ⅰ	必	2									◎						
創造工学実験	必	3									○						
電気電子工学実験Ⅱ	必	2									◎						
卒業研究	必	10									◎						
環境マネジメント概論	必	2													○		
電力系統工学	必	2									○						
原子力工学	必	2									○						
電気応用	必	1									○						
基礎電波工学	必	2									○						
シーケンス制御	必	2									○						
光電子工学	必	2									○						
電気法規	必	1									○						
電波法規	必	1									○						
インターンシップ	必		10											◎			
環境技術	必		2								○			◎			
技術者倫理	必		2								◎			○			
線形代数	必		2								◎						
工業デザイン	必		2								○					○	
離散数学	必		2								○						
電子力学	必		2								◎						
特別研究Ⅰ	必		4											◎	◎		
特別研究Ⅱ	必		8											◎	◎		
創造工学演習Ⅰ	必		3								◎				○		
創造工学演習Ⅱ	必		4											◎	◎		
電子機械概論	必		2													◎	
センサ工学	必		2								○						
生体情報工学	必		2								○						
計測制御工学	必		2								◎						
流体エネルギー変換工学	必		2								○					○	
移動現象論	必		2													○	
機械設計	必		2													○	
生産技術	必		2													○	
先端材料学	必		2								◎					○	
画像工学	必		2								○						
レーザ工学	必		2								○						
電磁エネルギー変換工学	必		2								○						
機能素子工学	必		2								○						
電磁波工学	必		2								○						
信号処理論	必		2								◎						
電子材料設計	必		2								◎						
音声情報処理	必		2								◎						
コンピュータグラフィックス	必		2								○						
日本語表現	必		1													◎	
総合英語演習	必		1											◎			
英語コミュニケーションⅠ	必		1											◎			
英語コミュニケーションⅡ	必		1											◎			
健康科学	必		2								○						
日本文化論	必		2								○						
開講単位数合計		36	42	38	47												
		78	85														

(備考)

- 1年次の総修得単位数が30単位数に満たない者は、2年次相当の創造工学演習Ⅱを履修できない。
- 複合工学修得コースにおいて、1年次に創造工学プログラムの学習・教育目標C(2)の総合的評価を満たさない者は、2年次相当の創造工学演習Ⅱを履修できない。

(創造工学プログラムの学習・教育目標と達成度評価をA-E項目で示し、コース別の学習・教育目標と達成度評価をFで示す。)

創造工学プログラムの学習・教育目標と達成度評価

A. 科学技術や情報を利用してデザインし創造することに喜びを知り、たゆまず努力する技術者を育成する。

(1)基礎工学(設計システム、情報論理、材料バイオ、力学、社会技術)の科目を修得している。

→【表1の基礎工学の5つのプログラム科目群で各群から1科目以上計6科目以上の単位を修得すること。】

表1. 基礎工学のプログラム科目群と科目名(◎は重要科目)

①設計システム系	◎電気回路Ⅱ	◎電子回路Ⅱ	制御工学Ⅰ
	制御工学Ⅱ	計測制御工学	信号処理論
②情報論理系	◎プログラミングⅢ	情報理論	画像工学
	音声情報処理		
③材料バイオ系	半導体デバイス工学Ⅱ	◎電気材料	先端材料学
	電子材料設計		
④力学系	応用物理Ⅱ	量子力学	
⑤社会技術系	◎環境技術		

→【専攻科専門共通科目から18単位以上を修得すること。】

(2)PBL(Problem-based Learning)の経験から創造の喜びを修得している。

→【プログラム重要科目である卒業研究、創造工学演習Ⅰを修得すること。】

B. 問題を見発見・提起し、修得した技術に関する知識や理論によって解析し、解決までできる技術者を育成する。

(1)学士の学位を取得できる専門工学の知識と能力を有する。

→【表B(1)のプログラム関連科目から29単位以上修得すること。】

→【専攻科専門展開科目から37単位以上を修得すること。】

(2)数学(情報処理)・物理による理論的解析能力がある。

→【表B(2)のプログラム関連科目から2単位以上修得すること。】

C. 国際社会を多面的に考えられる教養と語学力を持ち、社会や自然環境に配慮できる技術者を育成する。

(1)国際社会を多面的に考えることができる。

→【表C(1)のプログラム関連科目から12単位以上修得すること。】

(2)外国語によるコミュニケーション能力がある。

→【表C(2)のプログラム重要科目を修得すること。】

※【C(2)の総合的評価】

総合英語力到達度試験に合格すること。ただし、TOEIC400点相当、英検2級、工業英検3級取得のいずれかをもって代えることができる。

(3)技術者倫理を修得している。

→【表C(3)のプログラム重要科目を修得すること】

※【C(3),D(2)の総合的評価】

特別研究関連分野に関する技術者倫理/環境関連のテーマについてレポートを提出する。

D. 実践的な体験をとおして、地域の産業や社会が抱える課題に積極的に対処できる技術者を育成する。

(1)地域企業などでのインターンシップをとおして、実務上の問題点と解決法の現状を体得している。

→【プログラム重要科目であるインターンシップを修得すること。】

(2)実務上の問題点として、いろいろな環境技術について検討できる。

→【プログラム重要科目である環境技術を修得すること】

E. チームプロジェクト等を遂行するに必要な計画性をそなえ、論理的な記述・発表ができる技術者を育成する。

(1)日本語による論理的な記述、コミュニケーションができる。

→【表E(1)のプログラム重要科目を修得すること。】

(2)地道に行った研究成果を口頭発表できる。

→【表E(2)のプログラム重要科目を修得すること。】

※【E(1),E(2)の総合的評価】

特別研究の成果について、学会等で外部発表を行うこと。

(3)与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめることができる。

→【プログラム重要科目である創造工学演習Ⅱを修得すること。】

コース別の学習・教育目標と達成度評価

F1. 複合工学修得コースの学習・教育目標
いくつかの工学の知識を修得し、幅広い考察ができる技術者を育成する。

(1)申請学士領域以外の工学の知識を修得し、幅広い考察ができる。

→【専攻科におけるF(1)のプログラム科目群の中から、計6単位以上修得すること。表2にそれぞれの科目名を示す。】

表2. 専門共通・展開科目群の科目名

専門共通科目	工業デザイン
専門展開科目	◎電子機械概論
	流体エネルギー変換工学
	移動現象論
	機械設計
	生産技術
	先端材料学

F2. 専門工学探究コースの学習・教育目標
専門工学を探究し、深い考察ができる技術者を育成する。

(1)申請学士領域の工学を探究し、深い考察ができる。

→【学士を取得する専門工学における専攻科のプログラム関連科目(表B(1))から12単位以上修得すること。】

創造工学プログラムの科目と学習・教育目標との対応表(電子情報工学科)・・・申請学士領域(電気電子工学)

◎はプログラム重要科目、○①②③④⑤はプログラム関連科目

授業科目	必修						A		B		C		D		E		F	
		4	5	1	2	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)
日本文学	必	1									○							
環境倫理	必	1										◎		○				
生命の科学	必	1									○							
保健体育Ⅳ	必	2									○							
保健体育Ⅴ	必	1									○							
英語講読Ⅰ	必	2									○							
英語講読Ⅱ	必	1									○							
英語講読Ⅲ	必	1									○							
法と社会秩序	必	1									○							
第2外国語Ⅰ	必	2									○							
第2外国語Ⅱ	必	2									○							
特別英語演習	必	1									○							
応用数学A	必	1								◎								
応用数学B	必	2								◎								
確率・統計Ⅰ	必	1								◎								
確率・統計Ⅱ	必	1								◎								
応用物理Ⅰ	必	2				(4)				◎								
応用物理Ⅱ	必	1				(4)				◎								
電気回路Ⅱ	必	1				(1)				◎								
電子回路Ⅱ	必	1				(1)				◎								
電磁気学Ⅱ	必	2								◎	◎							
電子デバイス	必	2				(3)				◎								
ソフトウェア工学	必	2								○								
コンパイラ	必	1								○								
数値解析Ⅰ	必	1								◎	◎							
数値解析Ⅱ	必	1								◎	◎							
情報理論Ⅰ	必	2				(2)				◎								
情報理論Ⅱ	必	1								○								
画像情報処理	必	1								○								
デジタル信号処理	必	2								○								
制御工学	必	2								○								
情報通信Ⅱ	必	2				(2)				○								
情報通信Ⅲ	必	1								○								
電子情報工学総合演習	必	2								○								
システム設計演習	必	3					○			○								
電子情報工学実験Ⅳ	必	2								○								
電子情報工学実験Ⅴ	必	1								○								
卒業研究	必	10						◎							◎			
数学基礎演習	必	1								○								
数学応用演習	必	1								○								
環境マネジメント概論	必	2													○			
電子材料	必	2				(3)				○								
システム理工学	必	2								○								
人工知能	必	2								○								
ロボット工学	必	2								○								
シーケンス制御	必	2								○								
管理工学	必	2																○
産業法規	必	1																○
インターンシップ	必		10										◎					
環境技術者倫理	必		2		(5)						○		◎					
線形代数	必		2							◎								
工業デザイン	必		2								○							○
離散数学	必		2							○								
量子力学	必		2		(4)					○								
特別研究Ⅰ	必		4											◎	◎			
特別研究Ⅱ	必		8											◎	◎			
創造工学演習Ⅰ	必		3			◎												○
創造工学演習Ⅱ	必		4															◎
電子機械概論	必		2															◎
センサ工学	必		2							○								
生体情報工学	必		2							○								
計測制御工学	必		2		(1)					○								
流体エネルギー変換工学	必		2															○
移動現象論	必		2															○
機械設計	必		2															○
生産技術	必		2															○
先端材料学	必		2		(3)													○
画像工学	必		2		(2)					○								
レーザー工学	必		2							○								
電磁エネルギー変換工学	必		2							○								
機能素子工学	必		2							○								
電磁波工学	必		2							○								
信号処理論	必		2		(1)					○								
電子材料設計	必		2		(3)					○								
音声情報処理	必		2		(2)					○								
コンピュータグラフィックス	必		2							○								
日本語表現	必		1															◎
総合英語演習	必		1								◎							
英語コミュニケーションⅠ	必		1								◎							
英語コミュニケーションⅡ	必		1								◎							
日本文化論	必		2							○								
健康科学	必		2							○								
開講単位数合計			37	43	38	47												
			80			85												

(備考)

- ・1年次の総修得単位数が30単位数に満たない者は、2年次相当の創造工学演習Ⅱを履修できない。
- ・複合工学修得コースにおいて、1年次に創造工学プログラムの学習・教育目標C(2)の総合的評価を満たさない者は、2年次相当の創造工学演習Ⅱを履修できない。

(創造工学プログラムの学習・教育目標と達成度評価をA-E項目で示し、コース別の学習・教育目標と達成度評価をFで示す。)

創造工学プログラムの学習・教育目標と達成度評価

A. 科学技術や情報を利用してデザインし創造することに喜びを知り、たゆまず努力する技術者を育成する。

(1)基礎工学(設計システム、情報論理、材料バイオ、力学、社会技術)の科目を修得している。

→【表1の基礎工学の5つのプログラム科目群で各群から1科目以上計6科目以上の単位を修得すること。】

表1. 基礎工学のプログラム科目群と科目名(◎は重要科目)

①設計システム系	◎電気回路Ⅱ	◎電子回路Ⅱ	計測制御工学
信号処理論			
②情報論理系	情報理論Ⅰ	情報通信Ⅱ	画像工学
音声情報処理			
③材料バイオ系	◎電子デバイス	電子材料	先端材料学
電子材料設計			
④力学系	◎応用物理Ⅱ	◎応用物理Ⅰ	量子力学
⑤社会技術系	◎環境技術		

→【専攻科専門共通科目から18単位以上を修得すること。】

(2)PBL(Problem-based Learning)の経験から創造の喜びを修得している。

→【プログラム重要科目である卒業研究、創造工学演習Ⅰを修得すること。】

B. 問題を発見・提起し、修得した技術に関する知識や理論によって解析し、解決までできる技術者を育成する。

(1)学士の学位を取得できる専門工学の知識と能力を有する。

→【表B(1)のプログラム関連科目から38単位以上を修得すること。】

→【専攻科専門展開科目から37単位以上を修得すること。】

(2)数学(情報処理)・物理による理論的解析能力がある。

→【表B(2)のプログラム関連科目から2単位以上を修得すること。】

C. 国際社会を多面的に考えられる教養と語学力を持ち、社会や自然環境に配慮できる技術者を育成する。

(1)国際社会を多面的に考えることができる。

→【表C(1)のプログラム関連科目から12単位以上を修得すること。】

(2)外国語によるコミュニケーション能力がある。

→【表C(2)のプログラム重要科目を修得すること。】

※【C(2)の総合的評価】

総合英語力到達度試験に合格すること。ただし、TOEIC400点相当、英検2級、工業英検3級取得のいずれかをもって代えることができる。

(3)技術者倫理を修得している。

→【表C(3)のプログラム重要科目を修得すること】

※【C(3),D(2)の総合的評価】

特別研究関連分野に関する技術者倫理/環境関連のテーマについてレポートを提出する。

D. 実践的な体験をとおして、地域の産業や社会が抱える課題に積極的に対処できる技術者を育成する。

(1)地域企業などでのインターンシップをとおして、実務上の問題点と解決法の現状を体得している。

→【プログラム重要科目であるインターンシップを修得すること。】

(2)実務上の問題点として、いろいろな環境技術について検討できる。

→【プログラム重要科目である環境技術を修得すること】

E. チームプロジェクト等を遂行するに必要な計画性をそなえ、論理的な記述・発表ができる技術者を育成する。

(1)日本語による論理的な記述、コミュニケーションができる。

→【表E(1)のプログラム重要科目を修得すること。】

(2)地道に行った研究成果を口頭発表できる。

→【表E(2)のプログラム重要科目を修得すること。】

※【E(1),E(2)の総合的評価】

特別研究の成果について、学会等で外部発表を行うこと。

(3)与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめることができる。

→【プログラム重要科目である創造工学演習Ⅱを修得すること。】

コース別の学習・教育目標と達成度評価

F1. 複合工学修得コースの学習・教育目標
いくつかの工学の知識を修得し、幅広い考察ができる技術者を育成する。

(1)申請学士領域以外の工学の知識を修得し、幅広い考察ができる。

→【専攻科におけるF(1)のプログラム科目群の中から、計6単位以上修得すること。表2にそれぞれの科目名を示す。】

表2. 専門共通・展開科目群の科目名

専門共通科目	工業デザイン		
◎電子機械概論	流体エネルギー変換工学	移動現象論	
機械設計	生産技術	先端材料学	
管理工学	産業法規		

F2. 専門工学探究コースの学習・教育目標
専門工学を探究し、深い考察ができる技術者を育成する。

(1)申請学士領域の工学を探究し、深い考察ができる。

→【学士を取得する専門工学における専攻科のプログラム関連科目(表B(1))から12単位以上を修得すること。】

創造工学プログラムの科目と学習・教育目標との対応表(電子情報工学科)・・・申請学士領域(情報工学)

◎はプログラム重要科目、○①②③④⑤はプログラム関連科目

Table with columns for subjects (e.g., Japanese Literature, Environment, Life Science, Health, English, Law, Math, Physics, Electronics, etc.) and rows for learning/education goals (A-F). Includes a summary row at the bottom with unit counts.

(創造工学プログラムの学習・教育目標と達成度評価をA-E項目で示し、コース別の学習・教育目標と達成度評価をFで示す。)

創造工学プログラムの学習・教育目標と達成度評価

A. 科学技術や情報を利用してデザインし創造することに喜びを知り、たゆまず努力する技術者を育成する。

(1)基礎工学(設計システム、情報論理、材料バイオ、力学、社会技術)の科目を修得している。

→【表1の基礎工学の5つのプログラム科目群で各群から1科目以上計6科目以上の単位を修得すること。】

表1. 基礎工学のプログラム科目群と科目名(◎は重要科目)

Table mapping subject groups to specific courses: ①設計システム系 (電気回路II, 電子回路II, 計測制御工学), ②情報論理系 (情報論理I, 情報通信II, 画像工学), etc.

→【専攻科専門共通科目から18単位以上を修得すること。】

(2)PBL(Problem-based Learning)の経験から創造の喜びを修得している。

→【プログラム重要科目である卒業研究、創造工学演習Iを修得すること。】

B. 問題を発見・提起し、修得した技術に関する知識や理論によって解析し、解決までできる技術者を育成する。

(1)学士の学位を取得できる専門工学の知識と能力を有する。

→【表B(1)のプログラム関連科目から34単位以上を修得すること。】

(2)数学(情報処理)・物理による理論的解析能力がある。

→【表B(2)のプログラム関連科目から2単位以上を修得すること。】

C. 国際社会を多面的に考えられる教養と語学力を持ち、社会や自然環境に配慮できる技術者を育成する。

(1)国際社会を多面的に考えることができる。

→【表C(1)のプログラム関連科目から12単位以上を修得すること。】

(2)外国語によるコミュニケーション能力がある。

→【表C(2)のプログラム重要科目を修得すること。】

※【C(2)の総合的評価】

総合英語力到達試験に合格すること。ただし、TOEIC400点相当、英検2級、工業英検3級取得のいずれかをもちて代えることができる。

(3)技術者倫理を修得している。

→【表C(3)のプログラム重要科目を修得すること】

※【C(3),D(2)の総合的評価】

特別研究関連分野に関する技術者倫理/環境関連のテーマについてレポートを提出する。

D. 実践的な体験をとおして、地域の産業や社会が抱える課題に積極的に対処できる技術者を育成する。

(1)地域企業などでのインターンシップをとおして、実務上の問題点と解決法の現状を体得している。

→【プログラム重要科目であるインターンシップを修得すること。】

(2)実務上の問題点として、いろいろな環境技術について検討できる。

→【プログラム重要科目である環境技術を修得すること】

E. チームプロジェクト等を遂行するに必要な計画性をそなえ、論理的な記述・発表ができる技術者を育成する。

(1)日本語による論理的な記述、コミュニケーションができる。

→【表E(1)のプログラム重要科目を修得すること。】

(2)地道に行った研究成果を口頭発表できる。

→【表E(2)のプログラム重要科目を修得すること。】

※【E(1),E(2)の総合的評価】

特別研究の成果について、学会等で外部発表を行うこと。

(3)与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめることができる。

→【プログラム重要科目である創造工学演習IIを修得すること。】

コース別の学習・教育目標と達成度評価

F1. 複合工学修得コースの学習・教育目標

いくつかの工学の知識を修得し、幅広い考察ができる技術者を育成する。

(1)申請学士領域以外の工学の知識を修得し、幅広い考察ができる。

→【専攻科におけるF(1)のプログラム科目群の中から、計6単位以上修得すること。表2にそれぞれの科目名を示す。】

表2. 専門共通・展開科目群の科目名

Table mapping subject groups to specific courses: ①専門共通科目 (工業デザイン), ②専門展開科目 (電子機械概論, 流体エネルギー変換工学, etc.)

F2. 専門工学探究コースの学習・教育目標

専門工学を探究し、深い考察ができる技術者を育成する。

(1)申請学士領域の工学を探究し、深い考察ができる。

→【学士を取得する専門工学における専攻科のプログラム関連科目(表B(1))から12単位以上を修得すること。】

(備考)
・1年次の総修得単位数が30単位に満たない者は、2年次配当の創造工学演習IIを履修できない。
・複合工学修得コースにおいて、1年次に創造工学プログラムの学習・教育目標C(2)の総合的評価を満たさない者は、2年次配当の創造工学演習IIを履修できない。

創造工学プログラムの科目と学習・教育目標との対応表(環境都市工学科)・・・申請学士領域(土木工学)

◎はプログラム重要科目、○①②③④⑤はプログラム関連科目

授業科目	必修	学年と単位数																		
		4	5	1	2	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(3)								
日本文学	必	1										○								
環境倫理	必	1											◎		○					
生命の科学	必	1												○						
保健体育Ⅳ	必	2												○						
保健体育Ⅴ	必	2												○						
英語講読Ⅱ	必	2												○						
英語講読Ⅲ	必	2												○						
法と社会秩序	1													○						
第2外国語Ⅰ	2													○						
第2外国語Ⅱ	2													○						
特別英語演習	1													○						
確率・統計	必	2												◎						
応用数学	必	2												◎						
構造力学Ⅲ	必	2												◎						
水理学Ⅱ	必	2												◎						
土質力学Ⅱ	必	2												◎						
コンクリート構造Ⅱ	必	3												◎						
維持管理工学	必	1												◎						
鋼構造	必	2												◎						
耐震防災工学	必	2												◎						
測量学Ⅲ	必	1												◎						
計画数理	必	2												◎						
都市・交通計画	必	2												◎						
国土・地域計画	必	1												◎						
環境都市施設工学	必	2												◎						
環境保全工学	必	2												◎						
循環型社会システム工学	必	2												◎						
環境都市工学設計製図Ⅰ	必	2												◎						
環境都市工学設計製図Ⅱ	必	2												◎						
環境都市工学実験Ⅰ	必	2												◎						
環境都市工学実験Ⅱ	必	2												◎						
環境都市工学総合演習	必	1												◎						
卒業研究	必	10												◎						
応用物理実験	1													○						
環境マネジメント概論	2														○					
計算力学	2													○						
河川・水資源工学	2													○						
地盤工学	2													○						
廃棄物処理工学	2													○						
交通システム・都市施設デザイン	2													○						
アーバンデザイン	2													○						
リモートセンシング	2													○						
インターンシップ	必	10													◎					
環境技術	必	2													◎					
技術者倫理	必	2													◎					
線形代数	2														◎					
工業デザイン	2														○					○
離散数	2														○					
量子力学	2														○					
特別研究Ⅰ	必	4																		◎◎
特別研究Ⅱ	必	8																		◎◎
創造工学演習Ⅰ	必	3																		○
創造工学演習Ⅱ	必	4																		◎
建設材料学	必	2													◎					
構造解析学	必	2													◎					
振動・波動工学	必	2													◎					
建築環境調整論	必	2																		◎
応用コンクリート工学	2														◎					
流域水工学	2														◎					
交通基盤工学	2														◎					
地盤材料工学	2														◎					
環境工学	2														◎					
人間・環境デザイン論	2																			○
建築構造計算学	2																			○
住生活文化論	2																			○
環境景観	2																			○
建築・地域空間形成論	2																			○
日本語表現	必	1																		◎
総合英語演習	必	1																		◎
英語コミュニケーションⅠ	必	1																		◎
英語コミュニケーションⅡ	必	1																		◎
健康科学	必	2																		○
日本文化論	必	2																		○
開講単位数合計		36	44	38	39															
		80	77																	

(備考)
 ・1年次の総修得単位数が30単位数に満たない者は、2年次配当の創造工学演習Ⅱを履修できない。
 ・複合工学修得コースにおいて、1年次に創造工学プログラムの学習・教育目標C(2)の総合的評価を満たさない者は、2年次配当の創造工学演習Ⅱを履修できない。

(創造工学プログラムの学習・教育目標と達成度評価をA-E項目で示し、コース別の学習・教育目標と達成度評価をFで示す。)

創造工学プログラムの学習・教育目標と達成度評価

A. 科学技術や情報を利用してデザインし創造することに喜びを知り、たゆまず努力する技術者を育成する。

(1)基礎工学(設計システム、情報論理、材料バイオ、力学、社会技術)の科目を修得している。

→【表1の基礎工学の5つのプログラム科目群で各群から1科目以上計6科目以上の単位を修得すること。】

表1. 基礎工学のプログラム科目群と科目名(◎は重要科目)

①設計システム系	②情報論理系	③材料バイオ系	④力学系	⑤社会技術系
コンクリート構造学Ⅱ	◎測量学Ⅲ	◎土質力学Ⅱ	◎水理学Ⅱ	◎環境技術
鋼構造学	◎計画数理	◎土質力学Ⅱ	◎水理学Ⅱ	◎環境技術
環境都市施設工学		◎土質力学Ⅱ	◎水理学Ⅱ	◎環境技術
		◎土質力学Ⅱ	◎水理学Ⅱ	◎環境技術
		◎土質力学Ⅱ	◎水理学Ⅱ	◎環境技術
		◎土質力学Ⅱ	◎水理学Ⅱ	◎環境技術
		◎土質力学Ⅱ	◎水理学Ⅱ	◎環境技術
		◎土質力学Ⅱ	◎水理学Ⅱ	◎環境技術
		◎土質力学Ⅱ	◎水理学Ⅱ	◎環境技術
		◎土質力学Ⅱ	◎水理学Ⅱ	◎環境技術

→【専攻科専門共通科目から18単位以上を修得すること。】
 (2)PBL(Problem-based Learning)の経験から創造の喜びを修得している。
 →【プログラム重要科目である卒業研究、創造工学演習Ⅰを修得すること。】

B. 問題を発見・提起し、修得した技術に関する知識や理論によって解析し、解決までできる技術者を育成する。

(1)学士の学位を取得できる申請学士領域の工学の知識と能力を有する。
 →【表B(1)のプログラム関連科目から38単位以上修得すること。】

→【専攻科専門展開科目から37単位以上を修得すること。】

(2)数学(情報処理)・物理による理論的解析能力がある。
 →【表B(2)のプログラム関連科目から2単位以上修得すること。】

C. 国際社会を多面的に考えられる教養と語学力を持ち、社会や自然環境に配慮できる技術者を育成する。

(1)国際社会を多面的に考えることができる。
 →【表C(1)のプログラム関連科目から12単位以上修得すること。】

(2)外国語によるコミュニケーション能力がある。
 →【表C(2)のプログラム重要科目を修得すること。】

※【C(2)の総合的評価】
 総合英語力到達度試験に合格すること。ただし、TOEIC400点相当、英検2級、工業英検3級取得のいずれかをもちて代えることができる。

(3)技術者倫理を修得している。
 →【表C(3)のプログラム重要科目を修得すること】

※【C(3),D(2)の総合的評価】
 特別研究関連分野に関する技術者倫理/環境関連のテーマについてレポートを提出する。

D. 実践的な体験をとおして、地域の産業や社会が抱える課題に積極的に対処できる技術者を育成する。

(1)地域企業などでのインターンシップをとおして、実務上の問題点と解決法の現状を体得している。
 →【プログラム重要科目であるインターンシップを修得すること。】

(2)実務上の問題点として、いろいろな環境技術について検討できる。
 →【プログラム重要科目である環境技術を修得すること】

E. チームプロジェクト等を遂行するに必要な計画性をそなえ、論理的な記述・発表ができる技術者を育成する。

(1)日本語による論理的な記述、コミュニケーションができる。
 →【表E(1)のプログラム重要科目を修得すること。】

(2)地道に行った研究成果を口頭発表できる。
 →【表E(2)のプログラム重要科目を修得すること。】

※【E(1),E(2)の総合的評価】
 特別研究の成果について、学会等で外部発表を行うこと。

(3)与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめることができる。
 →【プログラム重要科目である創造工学演習Ⅱを修得すること。】

コース別の学習・教育目標と達成度評価

F1. 複合工学修得コースの学習・教育目標
 いくつかの工学の知識を修得し、幅広い考察ができる技術者を育成する。

(1)申請学士領域以外の工学の知識を修得し、幅広い考察ができる。

→【専攻科におけるF(1)のプログラム科目群の中から、計6単位以上修得すること。表2にそれぞれの科目名を示す。】

表2. 専門共通・展開科目群の科目名

石川工業高等専門学校学則（抜粋）

別表第 1 一般必修科目（平成 31 年度の第 1～2 学年に適用）

授 業 科 目			単 位 数	学 年 別 配 当					
				1	2	3	4	5	
必 修 科 目	国 語	国 語 I	4	4					
		国 語 II	2		2				
		国 語 III	2			2			
		日 本 文 学	1				1		
	社 会	歴 史 I	2	2					
		歴 史 II	1		1				
		倫 理	2		2				
		地 理	1			1			
		政 治・経 済	1			1			
		哲 学	1				1		
		法 学	1				1		
	数 学	基 礎 数 学 A	4	4					
		基 礎 数 学 B	3	3					
		解 析 学 I	4		4				
		解 析 学 II	4			4			
		代 数・幾 何 I	2		2				
		代 数・幾 何 II	1			1			
		総 合 数 学	1			1			
	理 科	物 理 学 I	2	2					
		物 理 学 II A	2		2				
		物 理 学 II B	1		1				
		総 合 物 理	1			1			
		化 学 I	2	2					
	保 健 体 育	化 学 II	3		3				
		保 健 体 育 I	2	2					
		保 健 体 育 II	2		2				
		保 健 体 育 III	2			2			
		保 健 体 育 IV	2				2		
	芸 術	保 健 体 育 V	1					1	
		美 術	1	1					
基礎オーラル コミュニケーション		2	2						
基 礎 英 語 I		2	2						
基 礎 英 語 II		2		2					
英 語 表 現 I		2	2						
英 語 表 現 II		4		4					
英 語 表 現 III		1			1				
総 合 英 語		1			1				
英 語 講 読 I		2			2				
英 語 講 読 II		2				2			
英 語 講 読 III		1					1		
一般必修科目開講単位合計			77	26	25	17	7	2	

一般必修科目（平成31年度の第3～5学年に適用）

授 業 科 目			単 位 数	学 年 別 配 当				
				1	2	3	4	5
必 修 科 目	国 語	国 語 I	4	4				
		国 語 II	2		2			
		国 語 III	2			2		
		日 本 文 学	1				1	
	社 会	歴 史 I	2	2				
		歴 史 II	1		1			
		倫 理	2		2			
		地 理	1		1			
		現 代 社 会	1			1		
		環 境 倫 理	1				1	
	数 学	基 礎 数 学 A	4	4				
		基 礎 数 学 B	3	3				
		解 析 学 I	4		4			
		解 析 学 II	4			4		
		代 数 ・ 幾 何 I	2		2			
		代 数 ・ 幾 何 II	1			1		
		総 合 数 学	1			1		
	理 科	物 理 学 I	2	2				
		物 理 学 II A	2		2			
		物 理 学 II B	1		1			
		総 合 物 理	1			1		
		化 学 I	2	2				
		化 学 II	3		3			
		生 命 の 科 学	1				1	
	保 健 体 育	保 健 体 育 I	2	2				
		保 健 体 育 II	2		2			
		保 健 体 育 III	2			2		
		保 健 体 育 IV	2				2	
		保 健 体 育 V	1					1
	芸 術	美 術	1	1				
	外 国 語	基礎オーラル コミュニケーション	2	2				
		基 礎 英 語 I	2	2				
		基 礎 英 語 II	2		2			
英 語 表 現 I		2	2					
英 語 表 現 II		4		4				
英 語 表 現 III		1			1			
総 合 英 語		1			1			
英 語 講 読 I		2			2			
英 語 講 読 II		2				2		
英 語 講 読 III	1					1		
一般必修科目開講単位合計			77	26	26	16	7	2

別表第2 専門必修科目及び選択科目 機械工学科 (平成31年度の第1～2学年に適用)

授業科目	単位数	学年別配当				
		1	2	3	4	5
応用数学 A	1				1	
応用数学 B	2				2	
確率・統計 I	1				1	
確率・統計 II	1					1
数学基礎演習*1	1				1	
数学応用演習*1						
応用物理 I	2			2		
応用物理 II	2				2	
機械工学基礎	1	1				
コンピュータリテラシー	1	1				
情報処理 I	1		1			
情報処理 II	1			1		
数値計算法	2				2	
材料力学 I	2			2		
材料力学 II	2				2	
材料強度学	1					1
機械要素	1		1			
工業力学	1			1		
機構学	1			1		
機械力学	2				2	
熱工学 I	2			2		
熱工学 II	2				2	
熱エネルギー変換	1					1
流れ学 I	2			2		
流れ学 II	2				2	
流体力学	1					1
材料学 I	2			2		
材料学 II	1				1	
計測工学	1				1	
機械工作法 I	2	2				
機械工作法 II	1		1			
電気工学	2				2	
電子情報	1					1
メカトロニクス	1					1
制御工学	2					2
生産管理工学	1					1
工業英語	2					2
機械実習 I	2	2				
機械実習 II	4		4			
機械創造演習	2			2		
機械基礎製図 I	2	2				
機械基礎製図 II	2		2			
機械設計製図 I	2			2		
機械設計製図 II	2				2	
機械工学実験 I	4				4	
機械工学実験 II	2					2
卒業研究	10					10
専門必修科目開講単位数合計	84	8	9	17	27	23

授業科目	単位数	学年別配当				
		1	2	3	4	5
第2外国語	2					2
実践英語○	2					2
工業材料○	2					2
ロボット工学○	2					2
シミュレーション工学○	2					2
シーケンス制御○	2					2
画像情報処理○	2					2
選択科目開講単位数合計	14					14
一般必修科目単位数合計	77	26	25	17	7	2
専門必修科目単位数合計	84	8	9	17	27	23
選択科目最低修得単位数合計	6					6
修得単位数合計	167	34	34	34	34	31

○の科目は学修単位

*1 数学基礎演習及び数学応用演習は、いずれか一方のみ受講可能

専門必修科目及び選択科目 機械工学科 (平成 31 年度の第 3～5 学年に適用)

授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当				
		1	2	3	4	5
応 用 数 学 A	1				1	
応 用 数 学 B	2				2	
確 率 ・ 統 計 I	1				1	
確 率 ・ 統 計 II	1					1
応 用 物 理 I	2			2		
応 用 物 理 II	2				2	
機 械 工 学 基 礎	1	1				
コ ン プ ュ ー タ リ テ ラ シ ー	1	1				
情 報 処 理 I	2			2		
情 報 処 理 II	2				2	
材 料 力 学 I	2			2		
材 料 力 学 II	2				2	
材 料 強 度 学	1					1
機 械 要 素	1		1			
工 業 力 学	1			1		
機 構 学	1			1		
機 械 力 学	2				2	
熱 力 学 I	2			2		
熱 力 学 II	2				2	
伝 熱 工 学	1					1
流 れ 学 I	2			2		
流 れ 学 II	2				2	
流 体 力 学	1					1
材 料 学 I	2			2		
材 料 学 II	1				1	
機 械 工 作 法 I	1	1				
機 械 工 作 法 II	2		2			
電 気 工 学	2				2	
電 子 情 報	1					1
メ カ ト ロ ニ ク ス	1					1
制 御 工 学	2					2
産 業 法 規	1					1
工 業 英 語	2					2
機 械 工 学 総 合 演 習	1				1	
機 械 実 習 I	3	3				
機 械 実 習 II	3		3			
機 械 創 造 演 習	2			2		
機 械 基 礎 製 図 I	2	2				
機 械 基 礎 製 図 II	2		2			
機 械 設 計 製 図 I	2			2		
機 械 設 計 製 図 II	2				2	
機 械 工 学 実 験 I	3				3	
機 械 工 学 実 験 II	2					2
卒 業 研 究	10					10
専 門 必 修 科 目 開 講 単 位 合 計	82	8	8	18	25	23

授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当					
		1	2	3	4	5	
選 択 科 目	数学基礎演習*1	1				1	
	数学応用演習*1	1				1	
	法と社会秩序	1				1	
	第2外国語 I	2				2	
	第2外国語 II*2	2					2
	特別英語演習	1					1
	環境マネジメント概論○	2					2
	管 理 工 学 ○	2					2
	工 業 材 料 ○	2					2
	生 産 技 術 概 論 ○	2					2
	ロ ボ ッ ト 工 学 ○	2					2
	シミュレーション工学○	2					2
	原 子 力 工 学 ○	2					2
	選 択 科 目 開 講 単 位 合 計	22				5	17
一 般 必 修 科 目 単 位 合 計	77	26	26	16	7	2	
専 門 必 修 科 目 単 位 合 計	82	8	8	18	25	23	
選 択 科 目 最 低 修 得 単 位 合 計	8				1	7	
修 得 単 位 合 計	167	34	34	34	33	32	

* 1 数学基礎演習及び数学応用演習は、いずれか一方のみ受講可能

* 2 第2外国語 II は、第2外国語 I を修得した場合にのみ受講可能

○の科目は学修単位

電気工学科 (平成 31 年度の第 1 ～ 2 学年に適用)

授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当				
		1	2	3	4	5
必 修 科 目	応 用 数 学 A	1			1	
	応 用 数 学 B	2			2	
	確 率 ・ 統 計 I	1			1	
	確 率 ・ 統 計 II	1				1
	応 用 物 理 I	2		2		
	応 用 物 理 II	1				1
	電 気 数 学	1	1			
	電 気 工 学 基 礎 I	2	2			
	電 気 工 学 基 礎 II	2		2		
	回 路 基 礎	2		2		
	電 気 回 路 I	2		2		
	電 気 回 路 II	2			2	
	電 気 磁 気 学 I	2		2		
	電 気 磁 気 学 II	2			2	
	デ ィ ジ タ ル 回 路 基 礎	2	2			
	電 子 回 路 I	2		2		
	電 子 回 路 II	2			2	
	電 気 電 子 計 測	1		1		
	制 御 工 学 I	1			1	
	制 御 工 学 II	2				2
	コ ン ピ ュ ー タ リ テ ラ シ ー	1	1			
	プ ロ グ ラ ミ ン グ I	2		2		
	プ ロ グ ラ ミ ン グ II	2		2		
	プ ロ グ ラ ミ ン グ III	2			2	
	電 気 機 器 I	2		2		
	電 気 機 器 II	1			1	
	パ ワ ー エ レ ク ト ロ ニ ク ス	1				1
	電 力 工 学 I	1			1	
	電 力 工 学 II	1				1
	電 子 物 性	1			1	
	半 導 体 デ バ イ ス 工 学	2			2	
	電 気 材 料	2				2
	情 報 通 信 工 学 I	2			2	
情 報 通 信 工 学 II	2				2	
電 気 工 学 演 習 I	1		1			
電 気 工 学 演 習 II	1			1		
電 気 工 学 演 習 III	1			1		
製 図	2	2				
電 気 電 子 工 学 基 礎 実 験	2		2			
電 気 電 子 工 学 実 験 I	3			3		
創 造 工 学 実 験	6			6		
電 気 電 子 工 学 実 験 II	3				3	
卒 業 研 究	10				10	
専 門 必 修 科 目 開 講 単 位 合 計	84	8	9	17	27	23

授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当				
		1	2	3	4	5
選 択 科 目	第 2 外 国 語	2				2
	実 践 英 語 ○	2				2
	シ ー ケ ン ス 制 御 ○	2				2
	電 力 系 統 工 学 ○	2				2
	基 礎 電 波 工 学 ○	2				2
	電 気 法 規 ○	2				2
	ロ ボ ッ ト 工 学 ○	2				2
	画 像 情 報 処 理 ○	2				2
	選 択 科 目 開 講 単 位 合 計	16				
一 般 必 修 科 目 単 位 合 計	77	26	25	17	7	2
専 門 必 修 科 目 単 位 合 計	84	8	9	17	27	23
選 択 科 目 最 低 修 得 単 位 合 計	6					6
修 得 単 位 合 計	167	34	34	34	34	31

○の科目は学修単位

電気工学科 (平成 31 年度の第 3～5 学年に適用)

授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当				
		1	2	3	4	5
必 修 科 目	応 用 数 学 A	1			1	
	応 用 数 学 B	2			2	
	確 率 ・ 統 計 I	1			1	
	確 率 ・ 統 計 II	1				1
	応 用 物 理 I	2		2		
	応 用 物 理 II	1				1
	電 気 数 学	1	1			
	電 気 工 学 基 礎 I	2	2			
	電 気 工 学 基 礎 II	2		2		
	回 路 基 礎	2		2		
	電 気 回 路 I	2		2		
	電 気 回 路 II	2			2	
	電 気 磁 気 学 I	2		2		
	電 気 磁 気 学 II	2			2	
	デ ィ ジ タ ル 回 路 基 礎	2	2			
	電 子 回 路 I	2		2		
	電 子 回 路 II	2			2	
	電 気 電 子 計 測	1		1		
	制 御 工 学 I	1			1	
	制 御 工 学 II	2				2
	コ ン ピ ュ ー タ リ テ ラ シ ー	1	1			
	プ ロ グ ラ ミ ン グ I	2		2		
	プ ロ グ ラ ミ ン グ II	2		2		
	プ ロ グ ラ ミ ン グ III	2			2	
	情 報 理 論	1				1
	電 気 機 器 I	2		2		
	電 気 機 器 II	1			1	
	パ ワ ー エ レ ク ト ロ ニ ッ ク ス	1		1		
	高 電 圧 工 学	2			2	
	電 力 工 学	1				1
	半 導 体 デ バ イ ス I	1		1		
	半 導 体 デ バ イ ス II	2			2	
電 気 材 料	2				2	
通 信 工 学	2			2		
情 報 ネットワーク工学	2				2	
デ ィ ジ タ ル 信 号 処 理	1				1	
製 図	2	2				
電 気 電 子 工 学 基 礎 実 験 I	2		2			
電 気 電 子 工 学 基 礎 実 験 II	3		3			
電 気 電 子 工 学 実 験 I	2			2		
創 造 工 学 実 験	3			3		
電 気 電 子 工 学 実 験 II	2				2	
卒 業 研 究	10				10	
専 門 必 修 科 目 開 講 単 位 合 計	82	8	8	18	25	23

授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当					
		1	2	3	4	5	
選 択 科 目	電 気 応 用	1			1		
	法 と 社 会 秩 序	1			1		
	第 2 外 国 語 I	2			2		
	第 2 外 国 語 II*1	2				2	
	特 別 英 語 演 習	1				1	
	環 境 マ ネ ジ メ ン ト 概 論 ○	2				2	
	シ ー ケ ン ス 制 御 ○	2				2	
	電 力 系 統 工 学 ○	2				2	
	原 子 力 工 学 ○	2				2	
	光 電 子 工 学 ○	2				2	
	基 礎 電 波 工 学 ○	2				2	
	電 気 法 規	1				1	
	電 波 法 規	1				1	
	選 択 科 目 開 講 単 位 合 計	21				4	17
	一 般 必 修 科 目 単 位 合 計	77	26	26	16	7	2
専 門 必 修 科 目 単 位 合 計	82	8	8	18	25	23	
選 択 科 目 最 低 修 得 単 位 合 計	8				1	7	
修 得 単 位 合 計	167	34	34	34	33	32	

*1 第2外国語IIは、第2外国語Iを修得した場合にのみ受講可能

○の科目は学修単位

電子情報工学科 (平成 31 年度の第 1～2 学年に適用)

授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当				
		1	2	3	4	5
必 修 科 目	応 用 数 学 A	1			1	
	応 用 数 学 B	2			2	
	確 率・統 計 I	1			1	
	確 率・統 計 II	1				1
	数 学 基 礎 演 習 *1	1			1	
	数 学 応 用 演 習 *1					
	応 用 物 理 I	2			2	
	応 用 物 理 II	1				1
	電 子 情 報 工 学 基 礎 I	2	2			
	電 子 情 報 工 学 基 礎 II	2		2		
	回 路 基 礎	2		2		
	デ ィ ジ タ ル 回 路	1		1		
	電 気 回 路 I	2			2	
	電 気 回 路 II	1				1
	電 子 回 路 I	2			2	
	電 子 回 路 II	1				1
	電 磁 気 学 I	2			2	
	電 磁 気 学 II	2				2
	電 子 デ バ イ ス	2				2
	コ ン ピ ュ ー タ アーキテクチャ	2			2	
	オペレーティングシステム	1				1
	デ ー タ ベ ー ス	1			1	
	情 報 基 礎	2	2			
	プ ロ グ ラ ミ ン グ 基 礎 I	2	2			
	プ ロ グ ラ ミ ン グ 基 礎 II	2		2		
	ア ル ゴ リ ズ ム と デ ー タ 構 造	2			2	
	ハ ー ド ウ ェ ア 設 計 工 学	2			2	
	プ ロ グ ラ ミ ン グ 応 用 演 習	1			1	
	ソ フ ト ウ ェ ア 工 学	2				2
	コ ン パ イ ラ	1				1
	情 報 数 学	1				1
	V L S I 工 学	1				1
	情 報 理 論	2				2
	デ ィ ジ タ ル 信 号 処 理	2				2
	制 御 工 学	2				2
	情 報 通 信 I	1			1	
	情 報 通 信 II	2				2
	情 報 通 信 III	1				1
	情 報 セ キ ュ リ テ ィ	1				1
	電 子 情 報 工 学 総 合 演 習	2				2
シ ス テ ム 設 計 演 習	2				2	
電 子 情 報 工 学 実 験 I	2	2				
電 子 情 報 工 学 実 験 II	2		2			
電 子 情 報 工 学 実 験 III	2			2		
電 子 情 報 工 学 実 験 IV	4				4	
電 子 情 報 工 学 実 験 V	1				1	
卒 業 研 究	10				10	
専 門 必 修 科 目 開 講 単 位 合 計	84	8	9	17	27	23

* 1 数学基礎演習及び数学応用演習は、いずれか一方のみ受講可能

授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当				
		1	2	3	4	5
選 択 科 目	第 2 外 国 語	2				2
	実 践 英 語 ○	2				2
	シ ス テ ム 数 理 工 学 ○	2				2
	人 工 知 能 ○	2				2
	画 像 情 報 処 理 ○	2				2
	ロ ボ ッ ト 工 学 ○	2				2
	シ ー ケ ン ス 制 御 ○	2				2
	選 択 科 目 開 講 単 位 合 計	14				
一 般 必 修 科 目 単 位 合 計	77	26	25	17	7	2
専 門 必 修 科 目 単 位 合 計	84	8	9	17	27	23
選 択 科 目 最 低 修 得 単 位 合 計	6					6
修 得 単 位 合 計	167	34	34	34	34	31

○の科目は学修単位

電子情報工学科 (平成 31 年度の第 3～5 学年に適用)

授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当				
		1	2	3	4	5
必 修 科 目	応 用 数 学 A	1			1	
	応 用 数 学 B	2			2	
	確 率 ・ 統 計 I	1			1	
	確 率 ・ 統 計 II	1				1
	応 用 物 理 I	2			2	
	応 用 物 理 II	1				1
	電 子 情 報 工 学 基 礎 I	2	2			
	電 子 情 報 工 学 基 礎 II	2		2		
	回 路 基 礎	2		2		
	電 気 回 路 I	2		2		
	電 気 回 路 II	1			1	
	電 子 回 路 I	2		2		
	電 子 回 路 II	1				1
	電 磁 気 学 I	2		2		
	電 磁 気 学 II	2			2	
	電 子 デ バ イ ス	2			2	
	デ ィ ジ タ ル 回 路	2		2		
	コ ン ピ ュ ー タ アーキテクチャ	2		2		
	オペレーティングシステム	2		2		
	デ ー タ ベ ー ス	1		1		
	情 報 基 礎	2	2			
	プ ロ グ ラ ミ ン グ I	2	2			
	プ ロ グ ラ ミ ン グ II	2		2		
	アルゴリズムとデータ構造	2		2		
	ソ フ ト ウ ェ ア 工 学	2			2	
	コ ン パ イ ラ	1				1
	数 値 解 析 I	1			1	
	数 値 解 析 II	1				1
情 報 理 論 I	2			2		
情 報 理 論 II	1				1	
画 像 情 報 処 理	1				1	
デ ィ ジ タ ル 信 号 処 理	2				2	
制 御 工 学	2				2	
情 報 通 信 I	1		1			
情 報 通 信 II	2			2		
情 報 通 信 III	1				1	
電 子 情 報 工 学 総 合 演 習	2			2		
シ ス テ ム 設 計 演 習	3			3		
電 子 情 報 工 学 実 験 I	2	2				
電 子 情 報 工 学 実 験 II	2		2			
電 子 情 報 工 学 実 験 III	2		2			
電 子 情 報 工 学 実 験 IV	2			2		
電 子 情 報 工 学 実 験 V	1				1	
卒 業 研 究	10				10	
専 門 必 修 科 目 開 講 単 位 合 計	82	8	8	18	25	23

授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当				
		1	2	3	4	5
選 択 科 目	数 学 基 礎 演 習 *1	1			1	
	数 学 応 用 演 習 *1	1			1	
	法 と 社 会 秩 序	1			1	
	第 2 外 国 語 I	2			2	
	第 2 外 国 語 II *2	2				2
	特 別 英 語 演 習	1				1
	環 境 マ ネ ジ メ ン ト 概 論 ○	2				2
	電 子 材 料 ○	2				2
	シ ス テ ム 数 理 工 学 ○	2				2
	人 工 知 能 ○	2				2
	ロ ボ ッ ト 工 学 ○	2				2
	シ ー ケ ン ス 制 御 ○	2				2
	管 理 工 学 ○	2				2
	産 業 法 規	1				1
	選 択 科 目 開 講 単 位 合 計	23			5	18
一 般 必 修 科 目 単 位 合 計	77	26	26	16	7	2
専 門 必 修 科 目 単 位 合 計	82	8	8	18	25	23
選 択 科 目 最 低 修 得 単 位 合 計	8			1	7	
修 得 単 位 合 計	167	34	34	34	33	32

*1 数学基礎演習及び数学応用演習は、いずれか一方のみ受講可能
 *2 第2外国語IIは、第2外国語Iを修得した場合にのみ受講可能
 ○の科目は学修単位

環境都市工学科 (平成 31 年度の第 1～2 学年に適用)

授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当				
		1	2	3	4	5
必 修 科 目	確 率 ・ 統 計	2			2	
	応 用 数 学	1			1	
	応 用 力 学	2			2	
	環境都市工学基礎	2	2			
	コンピュータリテラシー	2	2			
	プログラミング	2		2		
	C A D	1	1			
	土 木 史	1	1			
	構 造 力 学 I	1		1		
	構 造 力 学 II	3			3	
	構 造 力 学 III	2				2
	鋼 構 造 学	2				2
	水 理 学 I	3			3	
	水 理 学 II	2				2
	土 質 力 学 I	3			3	
	土 質 力 学 II	2				2
	コンクリート工学	2			2	
	コンクリート構造学	3				3
	維持管理工学	1				1
	測 量 学 I	1	1			
	測 量 学 II	1		1		
	測 量 学 III	1				1
	環境システム工学	2		2		
	上下水道工学	2				2
	環境保全工学	2				2
	計 画 数 理	2				2
	都 市 計 画	1	1			
	交 通 計 画	2			2	
	耐震防災工学	3				3
	土 木 数 学	1			1	
	環境都市工学設計製図 I	2				2
	環境都市工学設計製図 II	2				2
	環境都市工学実験 I	2			2	
	環境都市工学実験 II	2				2
環境都市工学実験 III	2				2	
測量学実習 I	3		3			
測量学実習 II	1			1		
環境都市工学総合演習 I	2				2	
環境都市工学総合演習 II	3				3	
卒 業 研 究	10				10	
専門必修科目開講単位合計	84	8	9	17	27	23

授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当				
		1	2	3	4	5
選 択 科 目	第 2 外 国 語	2				2
	実 践 英 語 ○	2				2
	計 算 工 学 ○	2				2
	河川・水資源工学 ○	2				2
	地 盤 工 学 ○	2				2
	交 通 工 学 ○	2				2
	アーバンデザイン ○	2				2
	選択科目開講単位合計	14				
一般必修科目単位合計	77	26	25	17	7	2
専門必修科目単位合計	84	8	9	17	27	23
選択科目最低修得単位合計	6					6
修 得 単 位 合 計	167	34	34	34	34	31

○の科目は学修単位

環境都市工学科 (平成 31 年度の第 3～5 学年に適用)

授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当				
		1	2	3	4	5
必 修 科 目	確 率 ・ 統 計	2			2	
	応 用 数 学	1			1	
	応 用 物 理	2		2		
	環境都市工学基礎	2	2			
	コンピュータリテラシー	2	2			
	情 報 処 理	2		2		
	プログラミング	1			1	
	C A D	1	1			
	構 造 力 学 I	1		1		
	構 造 力 学 II	3			3	
	構 造 力 学 III	2				2
	鋼 構 造 学	2				2
	水 理 学 I	3			3	
	水 理 学 II	2				2
	土 質 力 学 I	3			3	
	土 質 力 学 II	2				2
	コンクリート工学	2		2		
	コンクリート構造学 I	1			1	
	コンクリート構造学 II	3				3
	維 持 管 理 工 学	1				1
	測 量 学 I	2	2			
	測 量 学 II	1		1		
	測 量 学 III	1				1
	環境システム工学	2			2	
	環境都市施設工学	2				2
	環 境 保 全 工 学	2				2
	循環型社会システム工学	2				2
	計 画 数 理	2				2
	都 市 ・ 交 通 計 画	2				2
	国 土 ・ 地 域 計 画	1				1
	耐 震 防 災 工 学	2				2
	環境都市工学設計製図 I	2				2
	環境都市工学設計製図 II	2				2
環境都市工学実験 I	2			2		
環境都市工学実験 II	2				2	
環境都市工学実験 III	2				2	
測 量 学 実 習 I	1	1				
測 量 学 実 習 II	2		2			
測 量 学 実 習 III	1			1		
環境都市工学総合演習	1				1	
卒 業 研 究	10				10	
専門必修科目開講単位合計	82	8	8	18	25	23

授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当					
		1	2	3	4	5	
選 択 科 目	応 用 物 理 実 験	1				1	
	法 と 社 会 秩 序	1				1	
	第 2 外 国 語 I	2				2	
	第 2 外 国 語 II* 1	2				2	
	特 別 英 語 演 習	1				1	
	環 境 マ ネ ジ メ ン ト 概 論 ○	2				2	
	計 算 力 学 ○	2				2	
	河 川 ・ 水 資 源 工 学 ○	2				2	
	地 盤 工 学 ○	2				2	
	廃 棄 物 処 理 工 学 ○	2				2	
	リ モ ー ト セ ン シ ン グ ○	2				2	
	交 通 シ ス テ ム ・ 都 市 施 設 デ ザ イ ン ○	2				2	
	ア ー バ ン デ ザ イ ン ○	2				2	
	選択科目開講単位合計	23				4	19
	一般必修科目単位合計	77	26	26	16	7	2
専門必修科目単位合計	82	8	8	18	25	23	
選択科目最低修得単位合計	8				1	7	
修 得 単 位 合 計	167	34	34	34	33	32	

* 1 第 2 外国語 II は、第 2 外国語 I を修得した場合にのみ受講可能
○の科目は学修単位

建築学科 (平成 31 年度の第 1 ~ 2 学年に適用)

授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当					
		1	2	3	4	5	
必 修 科 目	確 率 ・ 統 計	2				2	
	応 用 数 学	1				1	
	応 用 力 学	1				1	
	建 築 学 基 礎	1	1				
	コ ン プ ュ ー タ リ テ ラ シ ー	1	1				
	建 築 C A D 基 礎	1			1		
	建 築 C A D 応 用	1				1	
	建 築 情 報 処 理 演 習	1					1
	造 形 演 習	1			1		
	建 築 計 画 学 基 礎	1		1			
	建 築 計 画 学	2			2		
	建 築 計 画 学 演 習	1				1	
	地 域 ・ 都 市 計 画	1					1
	日 本 建 築 史	1		1			
	西 洋 建 築 史	1	1				
	近 代 建 築 史	1			1		
	建 築 材 料	1				1	
	建 築 材 料 実 験	1				1	
	建 築 構 法	1			1		
	建 築 防 災 工 学	1					1
	鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 構 造 I	1				1	
	鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 構 造 II	1					1
	鉄 骨 構 造 I	1				1	
	鉄 骨 構 造 II	1					1
	構 造 力 学 基 礎	1	1				
	構 造 力 学 I	1		1			
	構 造 力 学 II	2			2		
	構 造 力 学 III	2				2	
	建 築 構 造 設 計 論	1					1
	建 築 振 動 論	1					1
	土 質 基 礎 工 学	1					1
	建 築 環 境 工 学 I	2			2		
	建 築 環 境 工 学 II	2				2	
	建 築 環 境 工 学 III	1					1
	建 築 設 備 計 画 I	1			1		
	建 築 設 備 計 画 II	1				1	
	測 量 学	1				1	
	測 量 学 演 習	1					1
	建 築 生 産 I	1				1	
	建 築 生 産 II	1					1
建 築 法 規	2					2	
建 築 工 学 総 合 演 習	1				1		
建 築 設 計 I	4	4					
建 築 設 計 II	6		6				
建 築 設 計 III	6			6			
建 築 設 計 IV	6				6		
課 題 演 習	3				3		
卒 業 研 究	10					10	
専 門 必 修 科 目 開 講 単 位 合 計	84	8	9	17	27	23	

授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当					
		1	2	3	4	5	
選 択 科 目	応 用 物 理 ○	2				2	
	第 2 外 国 語	2					2
	実 践 英 語 ○	2					2
	建 築 デ ザ イン 論 ○	2					2
	ア ー バ ン デ ザ イン ○	2					2
	交 通 工 学 ○	2					2
	建 築 環 境 ・ 設 備 ソ リ ュ ー シ ョ ン 学 ○	2					2
	選 択 科 目 開 講 単 位 合 計	14					14
一 般 必 修 科 目 単 位 合 計	77	26	25	17	7	2	
専 門 必 修 科 目 単 位 合 計	84	8	9	17	27	23	
選 択 科 目 最 低 修 得 単 位 合 計	6					6	
修 得 単 位 合 計	167	34	34	34	34	31	

○の科目は学修単位

建築学科 (平成 31 年度の第 3 ～ 5 学年に適用)

授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当					
		1	2	3	4	5	
必 修 科 目	確 率 ・ 統 計	2				2	
	応 用 数 学	1				1	
	応 用 物 理	1				1	
	建 築 学 基 礎	1	1				
	コ ン プ ュ ー タ リ テ ラ シ ー	1	1				
	建 築 C A D 基 礎	1			1		
	建 築 C A D 応 用	1				1	
	建 築 情 報 処 理 演 習	1					1
	造 形 演 習	1			1		
	建 築 計 画 学 基 礎	1			1		
	建 築 計 画 学 I	1			1		
	建 築 計 画 学 II	1				1	
	建 築 計 画 学 演 習	1				1	
	地 域 ・ 都 市 計 画	1					1
	日 本 建 築 史	1		1			
	西 洋 建 築 史	1	1				
	近 代 建 築 史	1			1		
	建 築 材 料	1			1		
	建 築 材 料 実 験	1				1	
	建 築 構 法	1			1		
	建 築 防 災 工 学	1					1
	鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 構 造 I	1				1	
	鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 構 造 II	1					1
	鉄 骨 構 造 I	1				1	
	鉄 骨 構 造 II	1					1
	構 造 力 学 基 礎	1	1				
	構 造 力 学 I	1		1			
	構 造 力 学 II	2			2		
	構 造 力 学 III	2				2	
	建 築 構 造 設 計 論	1					1
	建 築 振 動 論	1					1
	土 質 基 礎 工 学	1					1
建 築 環 境 工 学 I	2			2			
建 築 環 境 工 学 II	2				2		
建 築 環 境 工 学 III	1					1	
建 築 設 備 計 画 I	1			1			
建 築 設 備 計 画 II	1				1		
測 量 学	1				1		
測 量 学 演 習	1					1	
建 築 生 産	2					2	
建 築 法 規	2					2	
建 築 工 学 総 合 演 習	1				1		
建 築 設 計 I	4	4					
建 築 設 計 II	6		6				
建 築 設 計 III	6			6			
建 築 設 計 IV	6				6		
課 題 演 習	2				2		
卒 業 研 究	9					9	
専 門 必 修 科 目 開 講 単 位 合 計	82	8	8	18	25	23	

授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当					
		1	2	3	4	5	
選 択 科 目	応 用 物 理 演 習	1				1	
	法 と 社 会 秩 序	1				1	
	第 2 外 国 語 I	2				2	
	第 2 外 国 語 II * 1	2					2
	特 別 英 語 演 習	1					1
	環 境 マ ネ ジ メ ン ト 概 論 ○	2					2
	建 築 デ ザ イン 論 ○	2					2
	建 築 経 済 ○	2					2
	ア ー バ ン デ ザ イン ○	2					2
	リ モ ー ト セ ン シ ン グ ○	2					2
	交 通 シ ス テ ム ・ 都 市 施 設 デ ザ イン ○	2					2
	建 築 環 境 計 画 演 習	1					1
	建 築 設 備 計 画 演 習	1					1
	選 択 科 目 開 講 単 位 合 計	21				4	17
	一 般 必 修 科 目 単 位 合 計	77	26	26	16	7	2
専 門 必 修 科 目 単 位 合 計	82	8	8	18	25	23	
選 択 科 目 最 低 修 得 単 位 合 計	8				1	7	
修 得 単 位 合 計	167	34	34	34	33	32	

* 1 第 2 外 国 語 II は、第 2 外 国 語 I を 修 得 し た 場 合 に の み 受 講 可 能

○ の 科 目 は 学 修 単 位

別表第3 一般科目

各専攻共通

区分	授業科目	単位区分	単位数	学年別配当		
				1年	2年	
一般科目	日本語表現	必修	1	1		
	総合英語演習	必修	1	1		
	英語コミュニケーションⅠ	必修	1	1		
	英語コミュニケーションⅡ	必修	1		1	
	日本文化論	必修	2		2	
	健康科学	必修	2		2	
	一般科目開設単位数合計			8単位		
	一般科目修得単位数合計			8単位		

すべて学修単位科目

別表第4 専門科目

電子機械工学専攻

区分	授業科目	単位区分	単位数	学年別配当		
				1年	2年	
専門共通科目	インターンシップ	必修	10	10		
	環境技術	必修	2		2	
	技術者倫理	必修	2	2		
	線形代数	必修	2	2		
	工業デザイン	選択	2		2	
	離散数学	選択	2		2	
	量子力学	選択	2		2	
専門共通科目開設単位数合計			22単位			
専門共通科目修得単位数合計			18単位以上（必修科目16単位を含む。）			
専門科目	専門展開科目	特別研究Ⅰ	必修	4	4	
		特別研究Ⅱ	必修	8		8
		創造工学演習Ⅰ	必修	3	3	
		創造工学演習Ⅱ	必修	4		4
		電子機械概論	必修	2	2	
		センサ工学	必修	2	2	
		生体情報工学	必修	2	2	
		計測制御工学	必修	2	2	
		流体エネルギー変換工学	選択	2	2	
		移動現象論	選択	2		2
		機械設計	選択	2		2
		生産技術	選択	2		2
		先端材料学	選択	2		2
		画像工学	選択	2		2
		レーザ工学	選択	2		2
		電磁エネルギー変換工学	選択	2		2
		機能素子工学	選択	2		2
		電磁波工学	選択	2	2	
		信号処理論	選択	2		2
		電子材料設計	選択	2		2
音声情報処理	選択	2	2			
コンピュータグラフィックス	選択	2		2		
専門展開科目開設単位数合計			55単位			
専門展開科目修得単位数合計			37単位以上（必修科目27単位を含む。）			
一般科目を含む開設単位数合計			85単位			
一般科目を含む修了に要する修得単位数合計			62単位以上（1年次30単位以上）			

(備考)

- ・1年次の総修得単位数が30単位に満たない者は、2年配当の創造工学演習Ⅱを履修できない。
- ・すべて学修単位科目

環境建設工学専攻

区 分	授 業 科 目	単位区分	単位数	学 年 別 配 当		
				1 年	2 年	
専門共通科目	インターンシップ	必修	10	10		
	環 境 技 術	必修	2		2	
	技 術 者 倫 理	必修	2	2		
	線 形 代 数	必修	2	2		
	工 業 デ ザ イ ン	選択	2		2	
	離 散 数 学	選択	2		2	
	量 子 力 学	選択	2		2	
専門共通科目開設単位数合計			22単位			
専門共通科目修得単位数合計			18単位以上（必修科目16単位を含む。）			
専門科目	専門展開科目	特 別 研 究 I	必修	4	4	
		特 別 研 究 II	必修	8		8
		創 造 工 学 演 習 I	必修	3	3	
		創 造 工 学 演 習 II	必修	4		4
		建 設 材 料 学	必修	2	2	
		構 造 解 析 学	必修	2	2	
		振 動 ・ 波 動 工 学	必修	2	2	
		建 築 環 境 調 整 論	必修	2	2	
		応用コンクリート工学	選択	2		2
		流 域 水 工 学	選択	2	2	
		交 通 基 盤 工 学	選択	2		2
		地 盤 材 料 工 学	選択	2		2
		環 境 工 学	選択	2		2
		人 間 ・ 環 境 デ ザ イ ン 論	選択	2		2
		建 築 構 造 計 算 学	選択	2		2
		住 生 活 文 化 論	選択	2	2	
		環 境 景 観 論	選択	2		2
建 築 ・ 地 域 空 間 形 成 論	選択	2	2			
専門展開科目開設単位数合計			47単位			
専門展開科目修得単位数合計			37単位以上（必修科目27単位を含む。）			
一般科目を含む開設単位数合計			77単位			
一般科目を含む修了に要する修得単位数合計			62単位以上（1年次30単位以上）			

(備考)

- ・1年次の総修得単位数が30単位に満たない者は、2年配当の創造工学演習Ⅱを履修できない。
- ・すべて学修単位科目